

令和2年11月4日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

「第42回全日本中学生水の作文コンクール  
受賞報告会」の開催について（市長表敬訪問）

1 日時 令和2年11月12日（木）午後1時00分から

2 場所 豊川市役所（2階）市長室

3 その他

受賞内容については、以下の通りです。

○コンクールについて

「水の日」及び「水の週間」の行事の一環として昭和54年より実施。中学生を対象とし、水に対する関心を高め、その理解を深めることを目的とする。主催は、「内閣官房水循環政策本部」「国土交通省」「都道府県」です。

○受賞名 農林水産大臣賞 <優秀賞>

※愛知県表彰では「最優秀賞」

○受賞者 豊川市立南部中学校 3年 河邊 心那（こうべ ここな）

○作文の題名 「大地と街を潤す豊川用水」

○応募総数 9,444 編

○受賞数 最優秀賞1編 優秀賞8編 入選33編

【豊川市問合せ先】

豊川市教育委員会 学校教育課 加藤

[TEL:0533-88-8033](tel:0533-88-8033)

Eメール：[gakokyoiku@city.toyokawa.lg.jp](mailto:gakokyoiku@city.toyokawa.lg.jp)

内閣官房同時発表

令和2年10月1日  
水管理・国土保全局  
水資源部水資源政策課

水の週間関連行事

## 全日本中学生 水の作文コンクール受賞作品決定!

～子どもたちの水への思いがつまっています～

全国の中学生及び海外日本人学校在学の日本人中学生を対象に、「水について考える」をテーマに開催した第42回全日本中学生 水の作文コンクールは、総数9,444編の応募を頂きました。

審査の結果、最優秀賞（内閣総理大臣賞）1編のほか受賞作品を決定しました（別紙1）。

本コンクールは、「水の日」（8月1日）及び「水の週間」（8月1日～8月7日）の行事の一環として昭和54年より実施しているものです。次代を担う中学生を対象とし、広く水に対する関心を高め、その理解を深めることを目的としています。

※受賞作品は別紙2のとおりであり、以下の全日本中学生 水の作文コンクール HP でご覧になれます。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/tochimizushigen\\_mizsei\\_tk1\\_000010.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/mizsei/tochimizushigen_mizsei_tk1_000010.html)

## 【作文コンクール受賞作品】

## &lt;最優秀賞 1編&gt;

## ○内閣総理大臣賞

氏名 かしわばら あおい 柏原 葵 （きょうとふ 京都府 あやべしりつかんばやしちゅうがっこう 綾部市立上林中学校 1年）

題名 私が使っている水

## &lt;優秀賞 8編&gt;

## ○厚生労働大臣賞

氏名 はやし さゆり 林 咲結理 （とちぎけん 栃木県 さの にほんだいがくちゅうとうきょういくがっこう 佐野日本大学中等教育学校 2年）

題名 水と共に生きる

## ○農林水産大臣賞

氏名 こうべ ここな 河邊 心那 （あいちけん 愛知県 とよかわしりつなんぶちゅうがっこう 豊川市立南部中学校 3年）

題名 大地と街を潤す豊川用水

## ○経済産業大臣賞

氏名 しみず はるか 清水 遥 （くまもとけん 熊本県 くまもとしりついずみちゅうがっこう 熊本市立出水中学校 1年）

題名 水の旅

## ○国土交通大臣賞

氏名 おおたに ゆうと 大谷 優斗 （ぐんまけん 群馬県 しぶかわしりつしぶかわちゅうがっこう 渋川市立渋川中学校 2年）

題名 水と関わり合う日々

○環境大臣賞

氏名 おおしろ さわ 大城 冴和 (宮崎県 みやざきけん 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校 3年)  
題名 未来に繋ぐ優しい水音

○全日本中学校長会会長賞

氏名 いのうえ あいり 井上 愛理 (愛媛県 えひめけん 愛光中学校 1年)  
題名 水の向こうにあるもの

○水の週間実行委員会会長賞

氏名 ひろせ ののか 廣瀬 乃々佳 (栃木県 とちぎけん 佐野日本大学中等教育学校 2年)  
題名 水のありがたさを知って

○独立行政法人水資源機構理事長賞

氏名 うの まさひろ 宇野 誠洋 (福岡県 ふくおかけん 福岡教育大学附属福岡中学校 2年)  
題名 つなぐ…水

<入選 33編>※別紙1参照

- ※1. 例年、表彰式は、水の週間中央行事「水を考えるつどい」において行っていますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今年は同つどいにおける開催を取りやめます。
- ※2. 例年、受賞者は、7月下旬頃に決定していますが、今年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による一斉休校の影響等を考慮し、各都道府県への応募期限を2ヶ月間延長したことから、決定が2ヶ月程度遅くなりました。

【問い合わせ先】水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課 富田、寺崎、宿南  
代表 03-5253-8111 (内線: 31156、31143、31155) 夜間直通 03-5253-8386  
FAX 03-5253-1581

第42回全日本中学生水の作文コンクール入賞者一覧

別紙1

賞名	都道府県名	作文の題名	ふりがな 学校名	学年	ふりがな 氏名
最優秀賞 内閣総理大臣賞	京都府	私が使っている水	あやべりつかんぼやしちゅうがっこう 綾部市立上林中学校	1	しらかば 柏原 葵
優秀賞 厚生労働大臣賞	栃木県	水と共に生きる	すのにほんだいがくちゅうとうがくがっこう 佐野日本大学中等教育学校	2	はやし 林 咲結理
優秀賞 農林水産大臣賞	愛知県	大地と街を潤す豊川用水	とよかわしりつかんぼやしちゅうがっこう 豊川市立南部中学校	3	こうべ 河邊 心那
優秀賞 経済産業大臣賞	熊本県	水の旅	くまもとしりつかんぼやしちゅうがっこう 熊本市立出水中学校	1	しみず 清水 遥
優秀賞 国土交通大臣賞	群馬県	水と関わり合う日々	しづかわしりつかんぼやしちゅうがっこう 渋川市立渋川中学校	2	おおたに 大谷 優斗
優秀賞 環境大臣賞	宮崎県	未来に繋ぐ優しい水音	みやざきけんりつかんぼやしちゅうがっこう 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校	3	おおしろ 大城 汐和
優秀賞 全日本中学校長会会長賞	愛媛県	水の向こうにあるもの	あいこうちゅうがくがっこう 愛光中学校	1	いのうえ 井上 愛理
優秀賞 水の週間実行委員会会長賞	栃木県	水のありがたさを知って	すのにほんだいがくちゅうとうがくがっこう 佐野日本大学中等教育学校	2	ひろた 廣瀬 乃々佳
優秀賞 独立行政法人水資源機構理事長賞	福岡県	つなが…水	ふくおかきょういくだいがくちゅうがっこう 福岡教育大学附属福岡中学校	2	うの 宇野 誠洋
入選 (33編)	岩手県	人々の健康と水への思いやり	いわてへんりつかんぼやしちゅうがっこう 一戸町立奥中山中学校	3	なかし 中島 歩
	岩手県	水資源を守っていく	もりおかちゅうがくがっこう 盛岡中央高等学校附属中学校	3	ほそだ 細田 萌々菜
	岩手県	かけがえのない水と共に	もりおかちゅうがくがっこう 盛岡中央高等学校附属中学校	3	むらまつ 村松 一朗
	宮城県	水を守る～野蒜の地から学んだこと～	みやぎけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 仙台市立郡山中学校	3	おほし 大柿 榮々
	宮城県	水と共に生きる	みやぎけんせんいにかちゅうがくがっこう 宮城県仙台二華中学校	3	にしはら 西原 結花
	秋田県	真夏の水とつなぐ命	あきたけしりつかんぼやしちゅうがっこう 大館市立東中学校	3	やまだ 山田 七海
	福島県	見えてくるもの	あいちゅうがくがっこう 会津若松市立一箕中学校	2	いのうえ 井上 りわ
	群馬県	命を守る水	ぐんまだいがくちゅうがくがっこう 群馬大学共同教育学部附属中学校	3	たぐち 田口 郁子
	埼玉県	水を飲む、命をつなぐ	さいたまあけほししゅうがくがっこう 浦和明の星女子中学校	2	きたがみ 北神 咲季
	千葉県	「未来へつなぐ水」	ちばだいがくちゅうがくがっこう 千葉大学教育学部附属中学校	1	くさば 草場 美海
	東京都	水から自然を考える	とうきょうだいがくちゅうがくがっこう 東京大学教育学部附属中等教育学校	3	たなべ 棚部 さわ
	東京都	水の国に生きる身としての「義務」	とうきょうだいがくちゅうがくがっこう 東京大学教育学部附属中等教育学校	3	ますだ 増尾 諒一
	神奈川県	水と密接な関係を持つ森林	かながわあけほししゅうがくがっこう 慶應義塾普通部	2	まるおか 丸岡 龍生
	新潟県	水とは何か	にいがたしりつかんぼやしちゅうがっこう 新潟市立中野小屋中学校	2	たかほし 高橋 穂花
	富山県	水がある幸せ	とやまけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 高岡市立戸出中学校	2	いなか 稲場 結奈
	岐阜県	後世につなぐたい宝物	ぎふけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 高山市立荘川中学校	1	たぐち 田口 亜美
	静岡県	亀から学んだ地下水の恵み	しずおかしりつかんぼやしちゅうがっこう 静岡市立長田南中学校	1	ことば 近藤 沙彩
	愛知県	諸刃の剣「水」	あいちゅうがくがっこう 扶桑町立扶桑中学校	3	まの 真野 聡真
	三重県	水道水がとどくまで	みえけんちゅうがくがっこう 高田中学校	2	たか 高田 作田 凛
	滋賀県	まずはあなたの意識から	しがけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 大津市立唐崎中学校	3	のの 野平 ゆり
	大阪府	当たり前の中には	おおさかきょういくだいがくちゅうがっこう 大阪教育大学附属平野中学校	1	ひらち 引地 葵葉
	兵庫県	共存する地球	ひょうごけんりつかんぼやしちゅうがっこう 兵庫教育大学附属中学校	3	ながた 永田 愛織
	奈良県	「生きている水」	ならけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 大和郡山市立郡山西中学校	3	ふじもり 藤森 美花
	奈良県	祖父の野菜の秘密	ならけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 五條市立五條東中学校	2	もりた 森田 舞依華
	和歌山県	水への感謝	わかやまけんりつかんぼやしちゅうがっこう 和歌山県立田辺中学校	2	わかば 若勇 昌聖
	徳島県	水への感謝を忘れずに	とくしまけんりつかんぼやしちゅうがっこう 鳴門教育大学附属中学校	3	まつなが 松永 理沙
	香川県	水の大切さを知った出来事	かがけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 高松市立牟礼中学校	2	なまきり 菜切 麻央
	愛媛県	水と共に生きる道	えひめけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 松山市立鴨川中学校	1	きの 木下 大悟
	佐賀県	ふるさとの海	さがけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 唐津市立海青中学校	3	まつなが 松永 梨奈
	長崎県	生命を守る水	ながさきけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 長崎市立淵中学校	2	しまだ 島田 美花
	長崎県	水と環境	ながさきけんしりつかんぼやしちゅうがっこう 長崎市立淵中学校	2	たけぎ 榎木 涼子
	熊本県	あのサウンドをいつまでも	くまもとしりつかんぼやしちゅうがっこう 熊本市立出水中学校	2	もりの 森野 りん
	大分県	みんなが笑顔で水を飲むために	おおいだいがくちゅうがくがっこう 大分大学教育学部附属中学校	3	やまがた 山形 希来

# 農林水産大臣賞（優秀賞）

## 大地と街を潤す豊川用水

愛知県 豊川市立南部中学校 三年 河邊 心那

新型コロナウイルスの状況も落ち着き、私たちの学校でも授業や学級生活が再開しました。六月三日からは給食も始まり、地元の食材を生かした献立を楽しんでいます。私たちの住む豊川市やその周辺では、特に、シンやウズラの卵が有名で、東三河地方が全国シェアの半分以上を占めているそうです。最近ではバラやスプレーマムなど、多岐にわたって全国トップレベルの生産をあげています。

そこで私は、昨年の夏休みに豊川用水について調べたり、頭首工を見に行ったりしたことを思い出しました。八十キロメートルに満たない豊川流域では、毎年のように洪水や干ばつに襲われ、五十万人以上の農民が苦しんでいたそうです。松原用水という細い用水路が一五七七年に造られたことから、どんなに長い間、人々が水に悩まされてきたかがわかります。明治時代になって、牟呂用水や神野新田という三河湾沿いの干拓地ができますが、水の安定供給によって人々の生活も安定したのは、豊川用水の完成があつてのことです。

豊川用水の完成によって、豊川が流れていない、愛知県の先端田原市までが、豊かな農地に変わりました。昔の田原市では、地下水やため池を使用した農業に、限界がありました。水不足にも強いサツマイモや小麦しか育たなかつたそうです。今では、メロンやキク、養豚などで日本の農業をリードし、市町村別農業産出額は四年連続で全国一位に輝いています。一年間で使用される二億六千万立方メートルのうち、七十パーセントは農業用水に、二十四パーセントが水道用水に使われているとわかりました。私が特に驚いたことは、新城市大野の頭首工から渥美半島先端の初立池まで八十二キロ。豊川本流よりも用水の方が長いということです。さらに、電力を使用せず、自然の力だけで流れていると聞いて、びっくりしました。渥美半島は起伏があるのに、どんな工夫があるのか不思議に思いました。

もう一つ強く感じたことは、ダムのおかげです。決して長くはない豊川には二つのダムがあります。古くからある宇連ダムは、一九八十年代に一度干上がって、ダム底に沈んだ村が現れたと聞いたことがあります。豊川流域や豊川用水が水不足で困らないように、二〇〇一年には大島ダムが完成しました。それでもまさかの事態に備え、天竜川の佐久間ダムから通水もできる仕組みがあるそうです。私たちが生きていくうえで、水はなくてはならないものです。水に困っていた東三河の農業が大きく変わり、私たちの町に水が安定してやってくるのは、上流に住む人々のダム建設への理解と協力があつてこそです。故郷や住んでいた集落がダム底に沈んでしまった人たちがいることを、決して忘れてはいけません。水の供給や農作物生産がこれからも持続可能であるために、私も植林活動や河川の清掃に積極的に参加したいです。

豊かな田園風景やスプリングクラーが勢いよく回る野菜畑。日本屈指の農業王国になった東三河。私たちの大地を潤すのは、豊川用水を流れる豊富な水のおかげだと、改めて感じました。豊川市という名の通り、自然に流れる川はもちろん、そこに生きる人々の苦勞や努力や知恵に支えられてできた用水やダムがあつて、水が流れ続けていることがわかりました。

豊川用水通水五十周年を迎えた今、あたりまえに手元に届く水のありがたさをかみしめ、この土地に生まれてきたことに感謝したいです。半年後には進学先を決定し、卒業の準備に向かいます。地元の食材を生かした給食をいただけるのも、わずかな期間となります。新しい土地、新しい世界に旅立つ期待と不安はありますが、きっと故郷の大地が支えてくれると思います。しっかりとこの土地に根を張って生きます。水が大地に染みわたっていくように。